

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	建設部
課室名	建設課

予算	款	項	目	決算書
	8	4	1	186 頁

目 名
都市計画総務費

事務事業名称
都市計画総務事業

1. 概要

目的	快適で秩序ある都市を形成する	対象	市民
事業概要	○都市計画総務事業 ・都市計画マスタープラン策定 ・用途地域見直し		

臨/経	事業名	事業内容（主な経費等）	予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	都市計画総務事業	マスタープラン策定 委託料	4,337	3,870	9		40	3,821	3
計			4,337	3,870	9	0	40	3,821	

2. 指標設定

成果指標	指標名	秩序ある都市形成		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			総合計画／後期基本計画において、基本施策(2-1-2)の目標としているため			
活動指標	指標	a	都市計画マスタープラン策定	b	都市計画区域の見直し	c	都市計画施設の見直し	d
	数値	目標	—	目標	—	目標	—	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
秩序ある都市形成		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 都市計画マスタープラン策定		—	—	—
b 都市計画区域の見直し		—	—	—
c 都市計画施設の見直し		—	—	—
d				

4. 課題と対応

課題
未着手の都市計画施設がある。
対応（改善点等）
都市計画の見直しを進める。

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

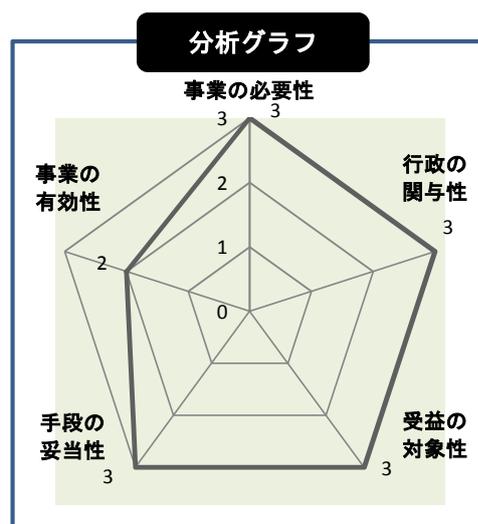
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		164	2,015	3,870	3,358
うち経常経費		164	209	258	1,531
財源内訳	国費			9	
	県費				
	市債				
	その他	151	55	40	1
	一般財源	13	1,960	3,821	3,357
うち経常		13	209	209	1,531
事業費に係る人件費		2,759	2,773	2,847	2,795

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
23年度がマスタープラン策定の最終年度

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市の都市計画の根幹となるものが必要
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 義務である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 区域外の人でも都市施設は利用する
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 マスタープランが基礎となる
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 3ヶ年にわたる事業の2年目のため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
縮小	平成23年度にプラン策定終了のため